

博士論文を提出する方へ

○博士論文はインターネットによる全文公表が義務付けられています。

これまで、博士の学位を授与されてから原則1年以内に全文「印刷公表」が義務付けられていた博士論文ですが、学位規則の改正により、その公表方法が変更となりました。平成25年4月1日以降に学位を授与された方は、その学位を授与した大学の協力を得て、博士論文の全文をインターネットにより公表することが必要になります。ただし、「やむを得ない理由」があり、それが認められる場合には、その理由が解消するまでの期間、その要約の公表で代えることも可能です。

○提出された博士論文データは、東北大学機関リポジトリ（TOUR）に登録されます。

東北大学では、「インターネットによる公表」を附属図書館が導入している「東北大学機関リポジトリ（TOUR）」を利用して行います。皆さんから提出のあった博士論文は、「TOUR」を通じて国立国会図書館へデータ提供されることとなります。「全文の要約」を公表する場合は、そのデータが「TOUR」へ登録されます。

○博士論文の提出およびインターネット公表にあたり確認してください。

1) 「本学指針」の遵守

博士論文を執筆し、提出するにあたっては、本学が定める「博士学位論文提出のための指針*」（平成26年9月8日）にもとづき、インターネット公表に係る権利関係、例えば図書出版した際の著作権ポリシー（インターネット公表に対する方針）や特許出願手続き等を確認してください。

* <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kyom/info/dissertation/dissertation.html>

2) 剽窃防止のためのオンラインツールでの確認

学位論文での引用が適法であることを確認するために、本学ではオンラインツール（iThenticate）を導入しています。指導教員に申し出たうえで、論文提出前に必ずチェックを行うようにしてください。

○「やむを得ない理由」とは？

例えば、「論文内容に立体形状による表現等の理由によりインターネットでの公表ができない場合」、「著作権や個人情報に係る制約があり、1年を超えてインターネットでの公表ができない内容を含む場合」、「出版刊行されている・多重公表を禁止する学術誌へ掲載等との関係で、インターネットでの全文の公表により不利益が1年を超えて生じる場合」、「特許出願等が予定されておりインターネットでの全文公表により不利益が1年を超えて生じる場合」などが考えられます。これらに該当すると考えられる場合は、指導教員の了承のもとで「博士学位論文要約登録依頼書」を提出し、所属部局長に許可されれば、その理由が解消されるまでの期間、博士論文の全文の公開をその要約を公表で代えることができます。

注1：「やむを得ない理由」により全文の要約を公表した場合、その理由が解消された際には速やかに博士論文の「全文」を公表する必要があります。そのために、「博士学位論文要

約登録依頼書」に「公表の時期」を指定する欄が設けられています。

注2：「全文の要約」を TOUR に登録して公表した場合でも、博士論文の「全文」は国立国会図書館へ提出しなければいけません。【博士論文の提出】

- ・ 博士論文1部<本学保管用（工学分館にて保管・閲覧等に供されます。）>
 - ・ 博士論文の電子データ（国立国会図書館が指定する電子データの形式）
- （「やむを得ない理由」があり、その理由が解消するまでの期間、その要約の公表で代える場合は、以下も提出してください。）

- ① 博士学位論文要約登録依頼書
- ② 博士論文全文の要約の電子データ（博士論文の電子データと形式は同じ）
- ③ 博士論文1部<国立国会図書館送付用>

※ 博士論文全文の公表に代えてその要約を公表する場合においても、後にやむを得ない理由が解消した際の全文公表に備え、博士論文全文の電子データは提出してください。

【国立国会図書館が指定する博士論文の電子データの形式】

博士論文の電子データ形式は、PDF（PDF/A(ISO19005)が望ましい）を推奨します。また、長期的な保存及びアクセシビリティ確保のため、外部情報源（外部フォント等）を参照していないこと（フォントを埋め込んだファイルとすること）、暗号化、パスワードの設定、印刷制限等を行わないこと（文書を開くパスワードの設定および印刷を制限するパスワードの設定は行わないこと）をお願いします。

<様式：情報科学研究科>

博士学位論文要約登録依頼書

令和 年 月 日

情報科学研究科長 殿

所属： 情報科学研究科 _____

学籍番号： _____

氏名： _____

私は、博士学位論文について、下記の理由によりインターネットで全文を公開することができないため、全文に代えて別紙のとおりその要約を東北大学機関リポジトリに登録することを依頼します。

記

【理由】（該当するものに☑を記入すると共に、公表時期についても記入すること）

- 当該論文に立体形状による表現が含まれている
- 著作権や個人情報に係る制約がある
- 出版刊行されている、もしくは予定されている
- 学術ジャーナルへ掲載されている、もしくは予定されている
- 当該論文の内容に含まれる発明等について、特許出願等が予定されている
- その他（ _____ ）

公表時期： 非公開理由が解消された際に別途届け出る。

年 月

指導教員等了承欄

職名 _____

氏名 _____ 印